

第17期中間決算公告

2021年9月27日

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 17階

ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行 東京支店

Banco Bilbao Vizcaya Argentaria, S.A.

日本における代表者： 龍 道夫

中間貸借対照表 (2021年6月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
現 金 預 け 金	2,223	預 金	-
コ ー ル ロ ー ン	-	譲 渡 性 預 金	-
買 現 先 勘 定	-	コ ー ル マ ネ ー	-
債券貸借取引支払保証金	-	売 現 先 勘 定	-
買 入 手 形	-	債券貸借取引受入担保金	-
買 入 金 銭 債 権	-	売 渡 手 形	-
商 品 有 価 証 券	-	コマーシャル・ペーパー	-
金 銭 の 信 託	-	借 用 金	-
有 価 証 券	-	外 国 為 替	-
貸 出 金	5,785	そ の 他 負 債	88
外 国 為 替	76	未 払 法 人 税 等	2
そ の 他 資 産	20	リ ー ス 債 務	-
リース投資資産	-	資 産 除 去 債 務	-
そ の 他 の 資 産	20	そ の 他 の 負 債	85
有 形 固 定 資 産	20	賞 与 引 当 金	4
無 形 固 定 資 産	32	退 職 給 付 引 当 金	19
前 払 年 金 費 用	-	特 別 法 上 の 引 当 金	-
繰 延 税 金 資 産	-	繰 延 税 金 負 債	-
支 払 承 諾 見 返	-	支 払 承 諾	-
貸 倒 引 当 金	△ 4	本 支 店 勘 定	7,285
本 支 店 勘 定	121	小 計	7,398
		持 込 資 本 金	2,000
		中 間 繰 越 利 益 剰 余 金	△ 1,122
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	-
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	-
		土 地 再 評 価 差 額 金	-
合 計	8,275	合 計	8,275

中間損益計算書 { 2021年1月1日から
2021年6月30日まで }

(単位:百万円)

科 目	金	額
経 常 収 益		35
資金運用収益	28	
(うち貸出金利息)	(26)	
(うち有価証券利息配当金)	(-)	
役務取引等収益	4	
その他業務収益	2	
その他経常収益	0	
経 常 費 用		73
資金調達費用	2	
(うち預金利息)	(-)	
役務取引等費用	0	
その他業務費用	-	
営業経費	70	
その他経常費用	-	
経 常 利 益		-
(又は経常損失)		37
特 別 利 益		-
特 別 損 失		-
税引前中間純利益		-
(又は税引前中間純損失)		37
法人税、住民税及び事業税	0	
法人税等調整額	-	
法人税等合計		0
中 間 純 利 益		-
(又は中間純損失)		38
繰越利益剰余金(当期首残高)		△ 1,083
本店への送金		-
(本店からの補填金)		-
中間繰越利益剰余金		△ 1,122

注記事項

- (1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 会計方針に関する事項
 - ① 有形固定資産の減価償却の方法：定額法を採用しております。
 - ② 外貨建資産等の本邦通貨への換算基準：外貨建資産・負債は中間決算日の為替相場による円換算額を付しております。
 - ③ 貸倒引当金の計上方法は、当行の経理規定により、正常先債権及び要注意先債権に対する引当金は本店において一括して計上しております。正常先債権及び要注意先債権以外の債権に対する引当金は個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上いたします。
 - ④ 退職給付引当金の計上方法：従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間期末において発生していると認められる額を計上しております。
- (3) 貸出金のうち、破綻先債権、延滞債権、3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権は、該当がありません。
- (4) 有形固定資産の減価償却累計額 20百万円

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

東京支店では、貸出金、外国為替（貿易取引）等を取り扱う銀行業務を行っております。当該業務にあたり、東京支店では運用と調達を通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせて管理しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

東京支店では国内外の顧客に対する貸付金等の金融商品を保有しており、顧客の契約不履行によってもたらされる信用リスク並びに金利の変動リスク、市場価格の変動リスク等の市場リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスクの管理

貸付金は、本店リスク管理部門が定めた信用リスク管理に関する内部規定に従い、同部門が構築した信用リスク評価モデルを用いて、信用リスクを評価しています。東京支店では香港クレジット部のサポートの下、信用リスクの最新状況を把握し管理しています。

② 市場リスクの管理

東京支店では資産に対し通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせた調達を実行することにより市場リスクを回避しております。

③ 資金調達に係る流動性リスクの管理

東京支店では、資産に対し通貨、元本金額及び利受け期間について一本ずつマッチさせた資金調達を当行本支店から行うことを基本としており、これにより流動性リスクを回避しております。また、急な円資金の需要に対応できるよう国内銀行に借入枠を設定しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2021年6月30日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。

(百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金預け金	2,223	2,223	—
(2) 貸出金	5,785	5,785	—
(3) 外国為替	76	76	—
(4) 本支店勘定	121	121	—
資産計	8,206	8,206	—
(1) 本支店勘定	7,285	7,285	—
負債計	7,285	7,285	—

(*) デリバティブ取引はありません。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金預け金

満期のない預け金については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(2) 貸出金

貸出金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映するため、貸出先の信用状態が実行後大きく異なっていない限り、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、貸出金の種類及び内部格付、期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規貸出を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しております。なお、残存期間が短期間（1年以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

また、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値又は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額を時価としております。

(3) 外国為替

外国為替は、他の銀行に対する満期のない預け金（外国他店預け）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(4) 本支店勘定

本支店勘定は満期のない預け金及び約定期間が短期間（1年以内）であり、それぞれ時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

負債

(1) 本支店勘定

本支店勘定は当行本店からの長短期の借入金です。変動金利による長期借入金については、短期間で市場金利を反映していることから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該長期借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。短期借入金は約定期間が短期間（1年以内）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(注2) 金銭債権の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超	2年超	3年超	4年超	5年超
		2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	
現金預け金	2,223	—	—	—	—	—
貸出金	—	—	—	—	—	5,785
外国為替	76	—	—	—	—	—
本支店勘定	121	—	—	—	—	—
合計	2,421	—	—	—	—	5,785

(*) 現金預け金、外国為替及び本支店勘定のうち満期のない預け金については、「1年以内」に含めて開示しております。

(注3) 本支店勘定及びその他の有利子負債の決算日後の返済予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超	2年超	3年超	4年超	5年超
		2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	
本支店勘定	7,285	—	—	—	—	—
合計	7,285	—	—	—	—	—